

学校番号	83	学校名	静岡県立浜松湖北高等学校 佐久間分校	校長名	大澤 貢
------	----	-----	-----------------------	-----	------

## 1 スクールミッション

北遠地区(愛知県奥三河地区を含む)における生徒の多様な進路希望にこたえる全日制普通科高校として、丁寧で手厚い少人数教育と複数の学校や地域と連携した教育を通して、誠実で地域や社会の中でより良く生きる能力や態度を持った人材の育成を目指す。

## 2 目指す学校像

## (1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー(本校では卒業までにこのような力を身に付けます)
<p>校訓「誠実」の下</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「磨かれた人間性」 自主・自律の精神と思いやりの心を持ち、豊かな感性と創造性にあふれた人間性</li> <li>・「磨かれた知性」 自主的・積極的に真理を探究し、自ら思索・判断する知性</li> <li>・「磨かれた社会性」 学校や社会で自分の役割や責任を果たすとともに、地域や社会をよりよくしようと行動できる社会性</li> </ul>
カリキュラム・ポリシー(本校ではこのような学びを行います)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数体制を生かした多様な学び</li> <li>・個に応じた指導による基礎・基本の定着を図る学び</li> <li>・様々な立場の人との多彩な交流や協力による学び</li> <li>・地域と一体となり、地域の諸問題に取り組むための学び</li> </ul>
アドミッション・ポリシー (本校ではこのような生徒を求めています)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いやりを持ち、他者と協力し、誠実に行動できる生徒</li> <li>・高い学習意欲を持ち、自らの可能性に挑戦していく生徒</li> <li>・北遠・奥三河地域の中で学び、地域を創造する意欲を持った生徒</li> <li>・佐久間での自立した生活を通して自らを高めていく意欲を持った生徒</li> </ul>

## (2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 校訓の下、礼儀正しく気持ちの良い挨拶の励行と節度ある生活態度で、誠実な人間性を育む。
- イ 多様な個性を尊重し、個に応じた適切な指導により生徒の人間力を高める。
- ウ 各教科の授業や総合的な探究の時間で、観点別学習状況の評価を効果的に活用し、情報・知識を統合的に使って、物事を深く考え自らの意見や考えを他者に積極的に伝える力を育成する。
- エ 地域と一体となり、地域の一員としての学校づくりを進める。
- オ 丁寧で手厚い少人数教育により、基礎・基本の定着を図り、主体的で対話的な学びを通してさらに高度な内容に対して理解を深め、高い学力を身に付けさせる。
- カ 多様な進路希望に対して、計画的で丁寧な指導を行い、生徒の進路実現を図る。
- キ 遠隔授業システム及びICTを活用した授業や家庭学習を推進するとともに、外部人材の積極的な活用を行い、中山間地域にあっても多様な学びを保障する魅力ある学校づくりを推進する。また、その魅力を発信し、この地域での学びに関心を持つ中学生・保護者を増やす。
- ク オンライン・ハイスクール事業を活用し、学校設定教科「地域」や地域の自然環境保護活動等を充実させ、本校・地元大学及び地域との連携等により地域や社会に役立つ人材を育成する。
- ケ 中学からの学びや生活の連続性を見通した連携型中高一貫教育を推進し、地域の教育力を高める。
- コ 安全安心な学校づくりを啓成寮も含め行う。
- サ 定時退勤日、スーパー定時退勤日の確実な実施や校内webサイトの活用による業務整理等を通じて、教職員が心身をリフレッシュする時間を確保する。

2 令和5年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	節度ある生活態度の実践を図り、行事・部活動やボランティア活動の充実を図る。	生徒会への指導を通して充実した行事を実施する。 日常的な指導を通して学校生活への積極的な取り組みを促す。問題行動の未然防止に努める。	・行事が有意義と答える生徒 80% ・行事・部活動やボランティア活動に積極的な取り組みを行った生徒の割合 85%以上	生徒保健 学年
イ	<b>個に応じた指導の在り方を確立する。 悩みや問題を抱えた生徒、いじめ等への早期対応を行う。</b>	生徒に関する情報交換を密にし、特に初期指導において、お互いの個性を認め合う活動を実施する。 生徒の変化をとらえるための面談等を適切な時期に実施する。	・面接 学期1回以上実施 ・いじめ等に関するアンケート 年4回実施 ・ケース会議 学期1回実施 ・カウンセラーとの面談 1人1回以上 ・生き方に係る授業・講座 年1回以上 ・生徒の抱える悩みに応えられる適切な指導が行われていると答える保護者 90%	生徒保健 学年
ウ	授業や総合的な探究の時間で生徒の発信力を高める活動をする。	授業や総合的な探究の時間内での発表の機会をつくり実施する。	・授業内での発表活動 学期2回以上 ・総合的な探究の時間での発表会 年2回以上 ・授業の発表活動や探究の発表会をとおして、自分の考えを伝える力が高まったと答える生徒 70%	教科 総合的な探究の時間委員会
エ	保護者・地域等との関わりを深める。	地域行事への積極的参加を促す。	・地域行事に関わった生徒 70%	管理職 生徒保健
オ	<b>授業に真剣に取り組む態度を育成するとともに、「分かる・学力が付く授業」を実践する。</b>	研究授業、公開授業、学びの基礎診断、生徒による授業評価を通して授業改善を行う。	・「授業が分かる率」 95%以上 ・「学力が付いた率」 95%以上	教務
	丁寧で手厚い教育の成果がより反映される体制を構築する。	確かな学力の定着を図るために ICT を効果的に用いた授業を行う。	・ICT 教育に関する職員研修 2回以上 ・ICT 活用に関する知識・理解・技能が高まったと答える教員の割合 70%以上	教務 (研修担当) 教科
	各教科、分掌との連携を深め、情報収集や探究のための閲覧・読書を推進する。	生徒アンケートや、各教科・分掌との連携により、生徒の人格形成に根差した図書選定を進める。	・年間読書冊数 5冊以上の生徒 80%	総務図書

様式第1号

カ	高い志の育成に努め、生徒の進路希望の実現を図る。	多様な進路希望に対応できる進路指導の充実を図る。 校内 web サイトに必要な情報を掲載する。 放課後及び休業中の進学補講を計画的に実施する。	・進路対策に満足していると答える生徒 80% ・進路について校内 web サイトが役立ったと回答した生徒 80% ・就職内定率 100%	進路
キ	ICT等を活用した授業や会議等を行うことにより、教育の質を維持し、効率的な学校運営を図る。	1人1台端末や校内 web サイトを活用した授業を行う。 遠隔システムを利用した授業及びテレビ会議や生徒交流などを行う。	・ICT や遠隔授業システムを2回以上活用した教員の割合 100% ・授業に工夫していると答える生徒 70%	教務 (情報担当)
	外部人材の活用を充実させる	通常の授業では学べない分野について外部講師による授業を行う。	・外部人材による授業を学期に1回以上	教務
	広報の充実を図る。	学校ホームページ・インスタグラムを迅速に更新し、充実した「佐高だより」を地域に回覧する。	・ホームページ・インスタグラムの更新 週2回以上 ・「佐高だより」の発行・回覧 年3回	管理職 総務図書
ク	学校設定教科「地域」を充実させ、本校・地元大学・地域との連携を深める。	本校・地元大学・地域と連携して、生徒が地域の課題解決に向けて主体的・創造的に取り組む。	・地域人材等の活用 年10回以上 ・授業内での発表会 2回以上 ・「地域」の授業に、主体的・創造的に取り組むことができたと答える生徒 80%	「地域」 担当 委員会
ケ	中高の行事交流等を充実させ、中高の一体感を高める。	授業交流を充実させるとともに、生徒が中高交流会行事に積極的に参加する。	・同一教科の中学校教員との意見交換年6回以上。 ・事後アンケートにより、「よかった」と答える中高生 90%以上	教務 生徒保健
コ	安全安心な学校環境の整備に努める。	施設・設備を定期的に点検し、その情報を職員間で共有する。そして、必要な改修や改善を計画的に行う。	・1学期に1度の定期的な点検 ・職員への聞き取り 学期1回 ・施設・設備の改修改善による安全安心の確保に努めていると答える保護者 90%	事務 生徒保健
サ	業務の効率化、見直しにより、業務負担の軽減を図る。	行事や日程、部活動日を調整し、定時退勤を確実に実施する。 校内 web サイトの活用による印刷業務等の軽減を図る。	・定時退勤日(スーパー定時退勤日含む)を月1回計12回以上設定し、90%以上の教員が実施。 ・スーパー定時退勤日を学期1回設定し、100%実施。 ・時間外勤務 年360時間以内6人以上 ・校内 web サイトが業務軽減につながったと答える教員 70%	全教職員 管理職